

TOKUSHIMA
MEDICAL CENTER WEST

とくしま医療センター西病院だより

独立行政法人国立病院機構とくしま医療センター西病院
四国神経筋センター

第64号



患者さん作品「浜辺の夕暮れ」

理念 「やさしい笑顔で、あたたかな医療を提供します」

- とくしま医療センターの新しい理念
- 新任のご挨拶
- 非常用発電機の燃料オイルタンク更新工事
- 令和6年度筋ジストロフィー研修会
- 地域医療連携室の病床機能再編後の取り組み
- 第78回国立病院総合医学会①
- 第78回国立病院総合医学会②
- 吉野川市健康セミナーを開催
- 人命救助による表彰
- FC徳島 初来院!
- ゆめ水族園開催!
- ハロウィンパレードを開催

西病院の診療機能

● 一般医療 地域医療に貢献します

- ◎内科 ◎外科
- ◎脳神経内科 ◎整形外科
- ◎消化器内科 ◎リハビリテーション科
- ◎放射線科

● 四国神経・筋センター

神経・筋疾患における四国の基幹医療施設です

- ◎神経・筋疾患 ◎筋ジストロフィー
- ◎パーキンソン病・神経変性疾患

● 総合リハビリテーションセンター

多種の疾患に対応して参ります

- ◎ロボットリハビリテーション

● 臨床研究部

四国で唯一の神経・筋領域の研究部です

とくしま医療センターの新しい理念について

令和6年4月1日に東徳島医療センターと徳島病院が
とくしま医療センターとして組織統合したことから新たな病院理念を策定しました。

新たな病院理念

「やさしい笑顔で、あたたかな医療を提供します」

新任のご挨拶

小児科医師 北村 明子

令和6年10月1日付けで、徳島県鳴門病院から赴任してまいりました北村明子と申します。とくしま医療センター西病棟と東病院で小児科医として勤務させていただいております。これまでは、主に急性期の小児疾患の診療に携わってきました。新しい環境に早く慣れて、とくしま医療センターの一員として患者様の診療に貢献できるよう日々精進してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

非常用自家発電機の燃料オイルタンク更新工事

企画課 島村 嘉人

この30年以内におけるマグニチュード8～9クラスの地震(南海トラフ地震)の発生確率が70～80%(2020年1月時点)と言われており、最近では令和6年8月に日向灘を震源とする宮崎県南部で最大震度6弱の地震が発生し、気象庁より南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」が発令されました。災害に対する備え(電気、水道等のライフラインの点検、確認)が再び強調されています。

当院の新病棟には非常用自家発電機(電圧6,600V 容量625kVA)を備え付けており、地震等災害発生により外部からの電気供給が途絶えて停電となった場合でも、自家発電機が稼働し、病棟内に電気を供給できる体制を取っていますが、発電に必要な燃料(A重油)を貯蔵するオイルタンクの容量が4トンであるため、発電約1日分の燃料しか貯蔵できないものとなっていました。

当院は徳島県より災害支援病院(専門分野・人工呼吸器患者等の対応)として指定されており、災害時の停電対応として約3日分の電気の確保が必要であるということで、令和6年11月に12トンの燃料貯蔵が可能なオイルタンク(発電約3日分)を新たに設置しました。これにより、人工呼吸器等医療機器の使用に必要な電気を長時間確保できることになり、「命を守る備え」を1つ進めることができました。その他に自家発電機設備(すみれ病棟、外来治療管理棟等)の改修工事も実施しており、これからはできる限り災害対応整備を行っていきます。



【令和6年度 筋ジストロフィー研修会 が開催されました】

内科医長 柏木 節子

令和6年10月4日金曜日に筋ジストロフィー研修会が開催されました。

今回は京都大学iPS細胞研究所の堀田秋津先生が「ゲノム編集を用いた筋ジストロフィー治療法開発の最前線」という演題で御講演下さいました。

堀田秋津先生には本来令和2年度の研修会の講師をお願いしておりましたが、コロナ禍で今年度まで延期が続いていました。しかし、その延期の期間も着実に研究は進んでいることを御講演からも知ることができました。研修会には、患者さんやご家族だけでなく、徳島大学からも聴講者があり、およそ80名の参加者が堀田秋津先生の研究に新しい時代の到来を感じました。高度な研究内容を私達にも解りやすくお話し下さったのは、堀田秋津先生の優しさです。

様々な観点から、多方面の分野の研究者が集まって、筋ジストロフィー医療の開発を日々重ねているという事を、改めて認識した研修会でした。



【プログラム】

13時00分～13時05分 開会の御挨拶
院長 近藤 秀治

13時05分～13時50分 講演
演題:「ゲノム編集を用いた筋ジストロフィー
治療法開発の最前線」

演者:京都大学iPS細胞研究所
臨床応用研究部門
准教授 堀田 秋津 先生

13時50分～14時10分 質疑応答

14時10分～14時15分 閉会の御挨拶

地域医療連携室の病床機能再編後の取り組み

地域医療連携室係長 富樫 和代

日頃より、当院の医療連携にご支援ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

とくしま医療センター西病院は、2023年11月に病床機能再編を行い、現在236床（一般病床138床、療養介護病床98床）で運用しております。5病棟から4病棟に集約したことで、病床のコントロールが困難になることもあり、一時的に、一般病床の空床が少なく入院患者の受け入れをお断りする状況がありました。

一方で、療養介護病床の利用率は一般病床に比べて約18%低い状況でした。これは、療養介護サービスを受けることが可能な一般病棟入院中の対象患者さんに、サービス利用の説明が十分にできていなかったためでした。障害支援区分6あるいは、区分5以上で一定の条件を満たす方は療養介護サービスを申請することができます。そこで、令和6年4月から対象となる患者さんご家族に、主治医、病棟看護師長、医療社会事業専門員、療育指導員、事務職員から療養介護サービスについてメリットとデメリットを含めて具体的に説明させていただきました。医療機関に入院していながら、福祉サービスが受けられることに興味を示してくださる方、環境が変わることに難色を示される方など様々でしたが、11月現在で20名の方々に同意をいただき、順次契約入院に移行いただいております。その結果、徐々に療養介護病床の利用率が上昇し、比率として約5%縮めることができました。これにより、一般病棟での新規入院の受け入れが可能となりました。これは、多職種が一致団結して取り組んだ成果だと思っています。

当院は神経筋疾患の四国の基幹医療施設であり、県内外からご紹介をいただいております。療養介護サービスが受けられる患者さんには、紹介時や入院前にパンフレットや面談によりサービス内容を説明させていただき、時には病棟見学などを通してサービスを実感していただいております。今後も療養介護サービスの向上に努め、患者さんにとってよりよい療養生活を提供したいと思っております。このような取り組みをご理解いただき、今後ともご協力をお願い申し上げます。

第78回 国立病院総合医学会①

コミュニケーションツールを活用した放射線科の取り組み

放射線科 山本 邦彦

本会では、放射線科で日常的に行っている医療安全の取り組みを発表し、その内容について素晴らしい評価をいただきました。この日常的な取り組みを支えてくださっているリスクマネージャーをはじめとする看護部の皆様にこの場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。今後はこの経験を活かし、更なる成長を目指して努力してまいります。

第78回 国立病院総合医学会②

第78回国立病院総合医学会にてベストポスター賞を授賞しました

療育指導室 藤田 瑞稀

グランキューブ大阪にて開催された第78回国立病院総合医学会に参加しました。私は「てっちゃんねる始動!～本人・家族の思いと多職種の視点～」のポスター発表を行いました。当院療養介護病棟に入所されていた患者さんがYouTubeチャンネルを開設して動画投稿を行う中で、本人の言動などの変化、療育指導室職員の関わりや他職種との連携を報告しました。今回発表に向けて事例を振り返り、まとめることで新たな気づきや学びが多くありました。また、発表後には他病院の方から「当院でも動画投稿をしたいと仰る患者さんがいて病院で動画投稿をしている人もいると知ったら励みになると思う、支援を参考にしたい」と声をかけていただいて、改めて事例を共有することができてよかったですと思いました。今後も、患者さんの思い、ご家族の思いを受け止め、希望の実現に向けた取り組みを他職種の方々と協同して行っていきたいと思えます。

吉野川市健康セミナーを開催しました

感染対策室

副看護師長／感染管理特定認定看護師 後藤 亜香里

令和6年10月2日に、地域住民の方を対象とし「食中毒予防と感染症に負けない食生活」をテーマに健康セミナーを開催しました。セミナーでは、①家庭でできる食中毒予防、②バランスのよい食生活、③食事を安全に食べるために重要なことについてお話させていただきました。

以下に、セミナーの内容の一部をご紹介します。

食中毒を予防するための3原則は、食中毒菌を「つけない」「増やさない」「やっつける」です。「つけない」ために、私たちができる最も基本的な対策が「手洗い」です。水洗いだけでなく、石鹸を用いた丁寧な手洗いを習慣化しましょう。また、魚や野菜などの食材は調理の前にしっかり洗いましょう。「増やさない」ために、生ものや調理した料理は暖かい部屋に長時間放置せず、調理後はなるべく早く食べ、食べきれないものは早めに冷蔵庫に保存しましょう。「やっつける」ために、調理方法に関わらず食材の中心までしっかりと加熱しましょう。食中毒は夏だけでなく、これからの冬の時期にも増加します。3原則を守って食中毒を予防しましょう。

皆様は「かみかみ百歳体操」をご存知ですか。これは高知市が口腔機能の向上を目的に開発した体操です。食べる力や飲み込む力をつけるための体操で、唾液がよく出るようになり、口の中が清潔に保たれ、食べることや飲み込むことが楽になります。また、口の周りに力がつくため、食べこぼしやムセを改善することにもつながります。飲み込みの力が弱くなり、気管に入りやすくなる誤嚥を予防することにもつながります。健康は「健口から始まります。食事の前の準備運動として始めてみませんか。

今後も、地域の皆様の健康の保持・増進のために情報を発信して参ります。感染症予防でご心配なことがございましたらご相談ください。

人命救助による表彰

3階病棟 近藤 美樹

ある休日のプールサイドで監視員の「救急車!!」という大きな声が響き渡り、数人が集まっているのが確認できました。倒れている人が見え、人手がいると思い駆けつけました。声掛けに反応がなく、脈や呼吸がなかったため、心肺蘇生法を実施し、AEDや救急要請がどうなっているか確認を行い、スタッフの人と協力しながら救急隊に引き継ぐ事ができました。

スタッフの人の役割や看護師としての役割、それぞれが自分の役割を考え行動できたので、大切な命を助ける事が出来ました。そしてこの度、消防署より感謝状をいただきました。今まで自分が行ってきた経験を活かし、人命救助ができたのを嬉しく思います。今後も役に立てるよう看護師としての能力を伸ばしていきたいです。



FC徳島 初来院!

療育指導室 和田 勇貴

令和6年9月3日にFC徳島の選手が3名、当院に来てくださいました。デイケア棟では、ドリブルやリフティングなどを見せてくれたり、当院の電動車椅子サッカーチームとパス回しを行ったりなど交流会を実施しました。その他にも、療養介護病棟の各居室訪問やパーキンソンリハビリの患者さんとのパス回しや鴨島支援学校でのイベント、あすなろ保育園児との交流会など、限られた時間の中でたくさんの患者さんと交流をしていただきました。選手みなさんととてもかっこよく、笑顔の素敵な優しい方々でした。

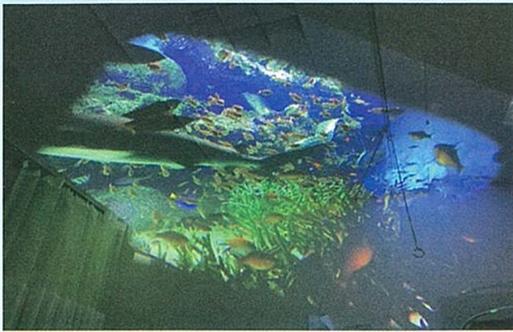
患者さんも職員もFC徳島の方々と交流することで元気を頂けたように思います。

姫田選手、谷山選手、本吉選手 ありがとうございました!!!



～ゆめ水族園開催!!～

療育指導室 中 若奈



ゆめ水族園とは

映像、音楽、揺れるスクリーンを組み合わせたやわらかな空間の中で、視覚、聴覚、触覚などを通じて豊かな感覚刺激体験をお届けするとゆうEPSON様が行っている社会貢献活動です。多様な体験の機会を得られにくい方々などに向けて、全国の特別支援学校や病院などの施設を中心に実施されています。

EPSON様にプロジェクションマッピングで水族館のような空間を室内に映し出す機材をお借りすることができました。ダイケア棟や療養介護病棟の各お部屋を巡回し、療養介護病棟全患者さんに水族館にいるような気分、涼やかな時間、を体験していただきました。映し出す空間や素材など、物品の準備には試行錯誤がありましたが、不織布や寒冷紗で作製したアイテムに実際に映像を映し出すと、反対側から透けて見えたり触ってみたりすることもでき、みなさんをアツと驚かせることができ、職員も大満足です♪ 映像や音、感触などさまざまな楽しみ方ができ、迫力も満点。「療養介護病棟の患者さんのほか、多くの方に見に来ていただき「すごい!」「きれいですね～」。「昔を思い出しました。」などの嬉しいお声も頂戴しました。今後も、日常から少し離れて気分転換ができたり、季節感を味わっていただけたりする企画をし、みなさまの楽しみや生きがいになれば…と思います。ご来場いただいたみなさま、ありがとうございました!

ハロウィンパレードを開催しました

療育指導室 藤田 瑞稀

療養介護病棟では、令和6年10月31日にハロウィンパレードを開催しました!ハロウィン当日までに、患者さんはかぼちゃやこもりなどの製作をしたり、壁面装飾をしたりしてハロウィンパレードを心待ちにされていました。当日は、約15名の職員で各病棟を巡回しました。職員は映画のキャラクターの仮装やタイムリーな話題の仮装、まるで本物の怪物のような仮装など各々力を入れた仮装をしていました。そんな職員に患者さんは「誰かわからなかった」「びっくりした!」「にぎやかでいいなあ」など感想を伝えてくれ、職員も大満足でした!患者さんも仮装アイテムを着用し記念撮影をしました。ぞっとするほど楽しいハロウィンを患者さんと過ごすことができました。



外来診療案内

令和7年1月1日現在

診療科	月	火	水	木	金	
内科	木村	齋藤	柏木	倉橋	足立 ※4	
消化器内科	木村		柏木			
脳神経内科一診	武内	三ツ井	高原	三ツ井	谷口	
脳神経内科二診					堤	
外科					大畑	
整形外科			※1			
リハビリテーション科			高田 ※1			
放射線科	岡田					
外来リハビリテーション	高田	高田	高田 ※1	高田	高田	
専門外来	スポーツ整形外来(午後)		岩瀬(毅) ※2	岩瀬(毅)・岩瀬(稜)(予約のみ) ※3		
専門外来・予約制	循環器内科(午後)			井内(予約制)		
	糖尿病外来			倉橋(午前)		
	筋ジストロフィー外来(小児科)	近藤・宮崎・北村			近藤・宮崎・北村	
	成人筋ジストロフィー定期診療外来				足立	
	パーキンソン病専門外来	武内	三ツ井	高原	三ツ井	谷口・堤
	物忘れ外来	武内	三ツ井	高原	三ツ井	谷口・堤
	禁煙外来					足立
セカンドオピニオン外来(脳神経内科)	脳神経内科医師					

- ※1 整形外科を受診希望の場合は、リハビリテーション科(水曜日)を受診してください。外来リハビリテーション水曜日午前以外の診察日は総合リハセンターでの診察となります。
- ※2 スポーツ整形外来(火曜日):初診の場合は予約制(電話予約のみ)です。再診の場合は受付順(受付時間は午後0時30分から4時30分まで)となります。
- ※3 スポーツ整形外来(木曜日):初診・再診とも予約制となります。初診は電話予約された患者様、再診は医師からの指示のあった患者様の診察となります。
- ※4 足立医師の外来は、予約制となります。

お知らせ(注意事項)

- ①受付時間は午前8時30分から午前11時までです。(受付時間以外の診療はお電話でご相談ください。)
- ②整形外科(水曜日)の受付は原則午前10時までです。
- ③外来リハビリテーションは再診のみです。初診の方はまずリハビリテーション科(水曜日)を受診してください。
- ④スポーツ整形外来は毎週火・木曜日の午後の診察になります。受診については上記※2(火曜日)、※3(木曜日)をご確認ください。
- ⑤筋ジストロフィー外来は予約制です。
- ⑥セカンドピニオン外来は主として脳神経内科の相談になります。(予約制)

交通案内

- JR鴨島駅からタクシーで約7分
- 徳島自動車道「土成インター」から
自家用車で約15分

案内マップ



(文責 広報部会)



独立行政法人国立病院機構
とくしま医療センター
西 病 院
四国神経筋センター

〒776-8585 徳島県吉野川市鴨島町敷地1354
TEL 0883-24-2161(代表) FAX 0883-24-8661
ホームページアドレス <https://tokushima.hosp.go.jp/>